



2017年11月期 第2四半期

決算説明会

2017年7月14日

JAPAN
THE AMERICAS
CHINA
ASIA

MARUKA

証券コード 7594



マルカキカイ 株式会社
MARUKA MACHINERY Co., Ltd.

目 次

1.	2017年11月期第2四半期決算の概要		
	① 2017年11月期第2四半期決算		3
	② 産業機械部門の業績		13
	③ 建設機械部門の業績		18
2.	2017年11月期営業戦略進捗及び業績予想		
	① 中期経営計画		22
	② 2017年11月期業績予想		25
	③ 産業機械部門		27
	④ 建設機械部門		30
	⑤ トピックス		31
3.	株主還元		
	配当方針および配当金の推移		34
	(補足資料)		
	会社の概要		36

2017年11月期第2四半期 決算の概要

(2016年12月1日～2017年5月31日)

第2四半期決算の要点

海外向け販売が好調に推移し、売上高は前年同期比0.9%増
経常利益は、円高影響による為替差損がなくなり、前年同期比4.7%増
期初計画比でも順調な推移

産業機械部門は、海外向けが好調で前年同期比3.3%増
建設機械部門は、主力のクレーンの販売が落ち込み前年同期比9.8%減

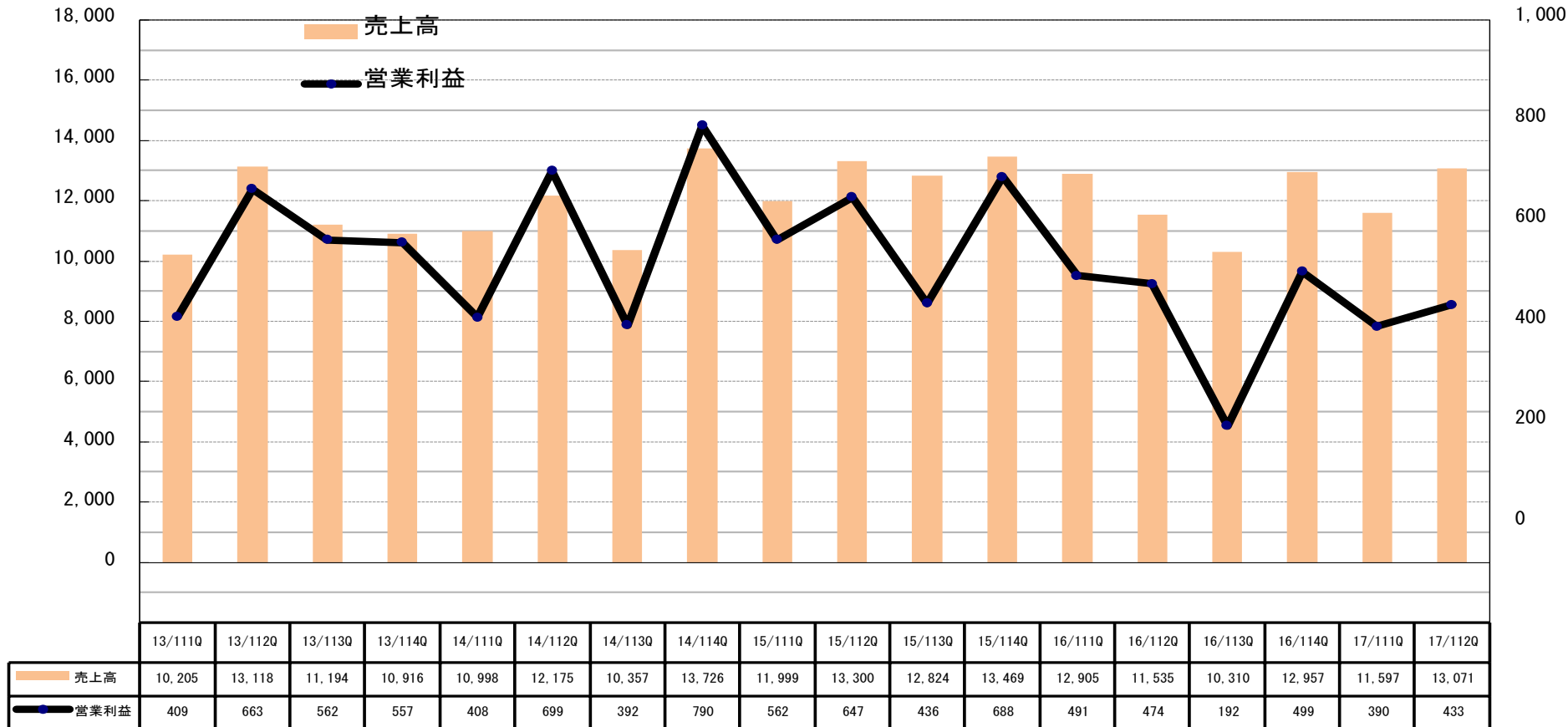
国内売上高は減少、海外売上高は前年同期比8.2%増
海外売上高比率は 53.0%

米州は工作機械の販売が自動車業界を中心に好調
アジア地域はマレーシア向け部品販売事業が伸長

四半期業績の推移

売上高: 百万円

営業利益: 百万円



単位: 百万円

	13/11期		14/11期		15/11期		16/11期		17/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
売上高	23,323	22,111	23,173	24,083	25,299	26,293	24,441	23,266	24,668
営業利益	1,072	1,120	1,107	1,182	1,209	1,182	965	691	823

第2四半期決算の概要

産業機械は海外向けが好調を維持。建設機械は主力のクレーンが不調

前上期に計上されていた為替差損(1億2千万円)がなくなり、経常増益

単位:百万円

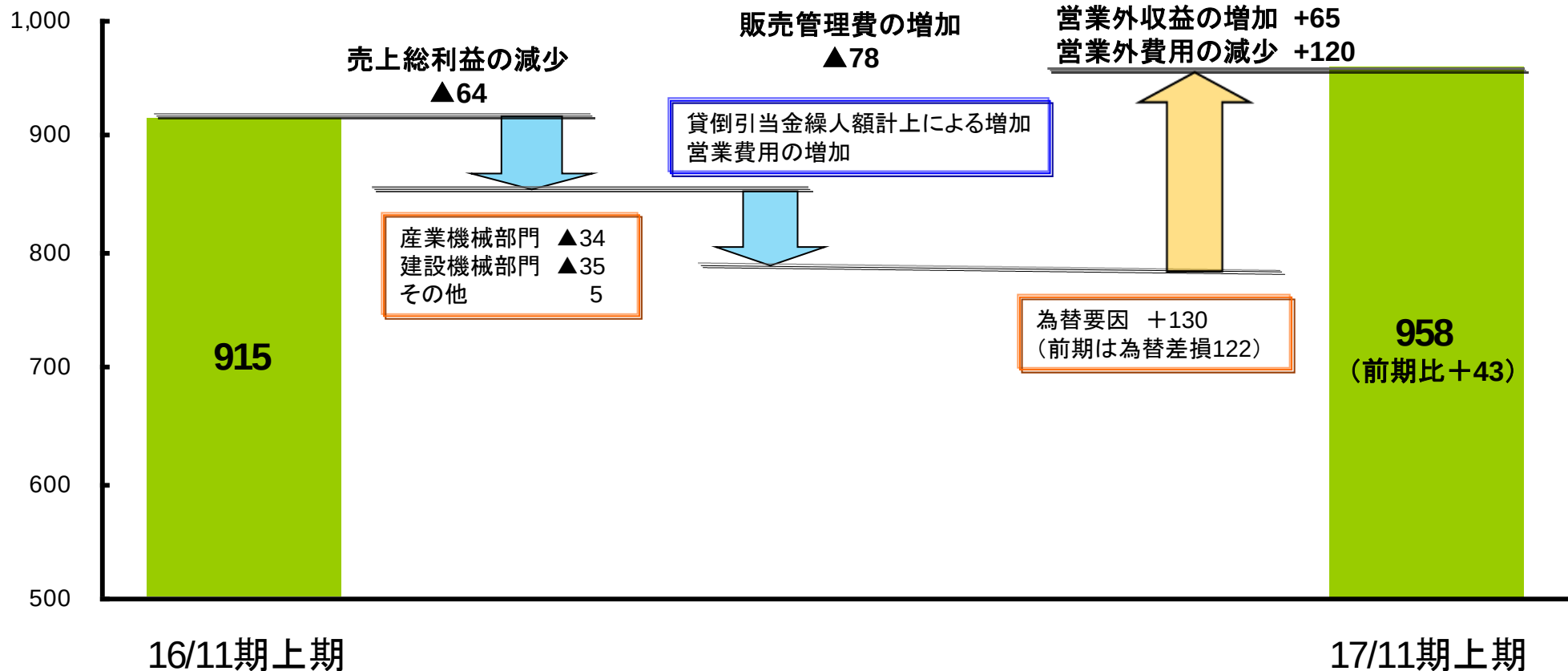
	16/11期 上期		17/11期 上期		前年 同期比 (%)	期初計画 (17/1/13)	同計画比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
売上高	24,441	100.0	24,668	100.0	0.9	24,500	0.7
産業機械	19,824	81.1	20,483	83.0	3.3	20,431	0.3
建設機械	4,573	18.7	4,124	16.7	▲ 9.8	4,040	2.1
その他	44	0.2	61	0.3	38.9	29	110.7
売上総利益	3,670	15.0	3,606	14.6	▲ 1.8	3,550	1.6
販売管理費	2,705	11.1	2,783	11.3	2.9	2,750	1.2
営業利益	965	4.0	823	3.3	▲ 14.8	800	2.9
経常利益	915	3.7	958	3.9	4.7	880	9.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	572	2.3	613	2.5	7.2	560	9.5
1株当たり四半期純利益	65.02円	—	71.43	—	—	64.81円	—

1株当たり配当金	15円	—	17円	—	+2円	15円	15円
人 員	562人	—	592人	—	+30人	—	—

経常利益変動要因

- 売上総利益は、海外向けは好調を維持するも、産業機械、建設機械とも国内向けが振るわず減益
- 営業外損益は、為替差損がなくなり大幅改善

(単位: 百万円)



販売管理費の内訳

■ 主な増加要因は、貸倒引当金計上額の増加

単位: 百万円

	16/11期上期	17/11期上期	増減額	主な要因
人件費	1,610	1,607	▲ 2	
旅費・交通費など	328	343	15	営業活動費増
営繕・事務用品など	64	71	7	
減価償却費	35	43	7	
その他	666	717	58	貸倒引当金繰入額33百万円増 新社屋取得費用12百万円増
合計	2,705	2,783	78	

第2四半期末貸借対照表



有利子負債の増加は、主に子会社マルカアメリカ、マルカ上海、管製作所の運転資金借り入れ

単位:百万円

資産			
	16/11期末	17年11期 上期末	備 考
現金預金	9,285	9,139	
売上債権	15,200	14,069	
その他流動資産	5,431	5,144	
有形固定資産	5,300	6,656	マルカ本社新社屋(1,100百万円)、管製作所新工場取得(238百万円)
無形固定資産	462	439	
その他固定資産	1,640	1,725	
総資産	37,321	37,174	

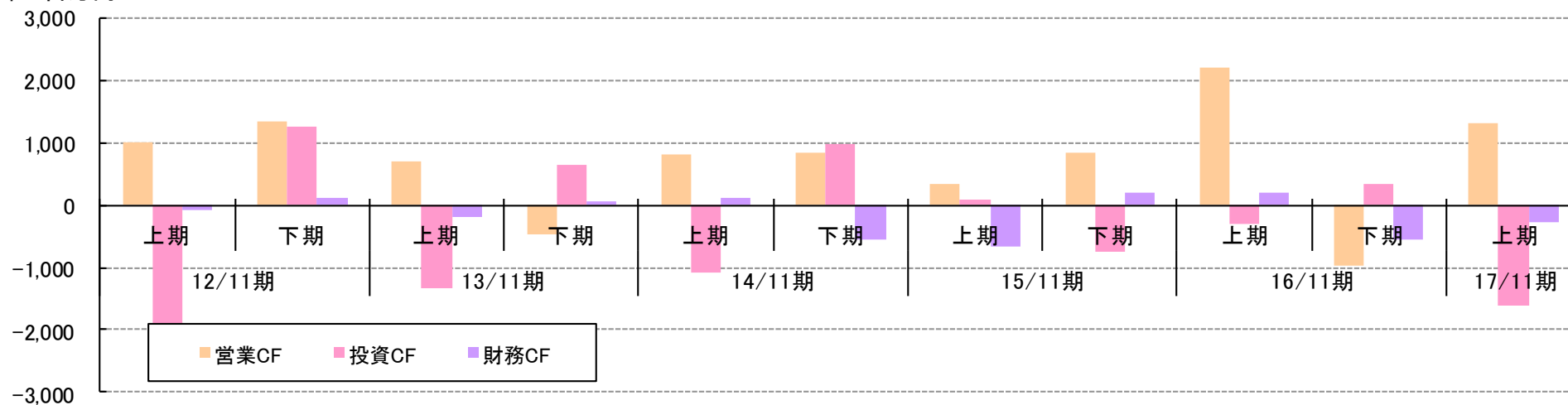
負債			
	16/11期末	17年11期 上期末	備 考
仕入債務	15,065	14,160	
短期有利子負債	363	697	借入金(マルカアメリカ 127百万円、マルカ上海 155百万円、管製作所 52百万円)
その他流動負債	2,370	2,179	
長期有利子負債	381	334	
その他固定負債	548	573	
負債	18,640	17,946	
純資産	18,681	19,228	剰余金の配当(▲192百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(613百万円)

キャッシュフローの推移

単位:百万円

	12/11期		13/11期		14/11期		15/11期		16/11期		17/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
営業活動によるCF	1,015	1,362	703	▲455	816	846	357	849	2,221	▲975	1,333
投資活動によるCF	▲2,147	1,262	▲1,323	651	▲1,089	981	101	▲748	▲288	334	▲1,598
フリーキャッシュフロー	▲1,132	2,624	▲620	196	▲273	1,827	458	101	1,933	▲641	▲265
財務活動によるCF	▲73	136	▲178	58	113	▲559	▲665	219	195	▲551	▲135
期末現金残高	4,846	7,588	7,019	7,401	7,274	8,680	8,698	8,723	10,724	9,398	8,993
設備投資額	221	451	198	230	175	122	200	370	88	752	1,450
減価償却費	78	89	88	106	125	133	99	111	119	133	136

単位:百万円



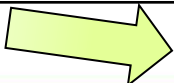
連結子会社の業績

単体が苦戦。国内子会社、海外は堅調

単位:百万円

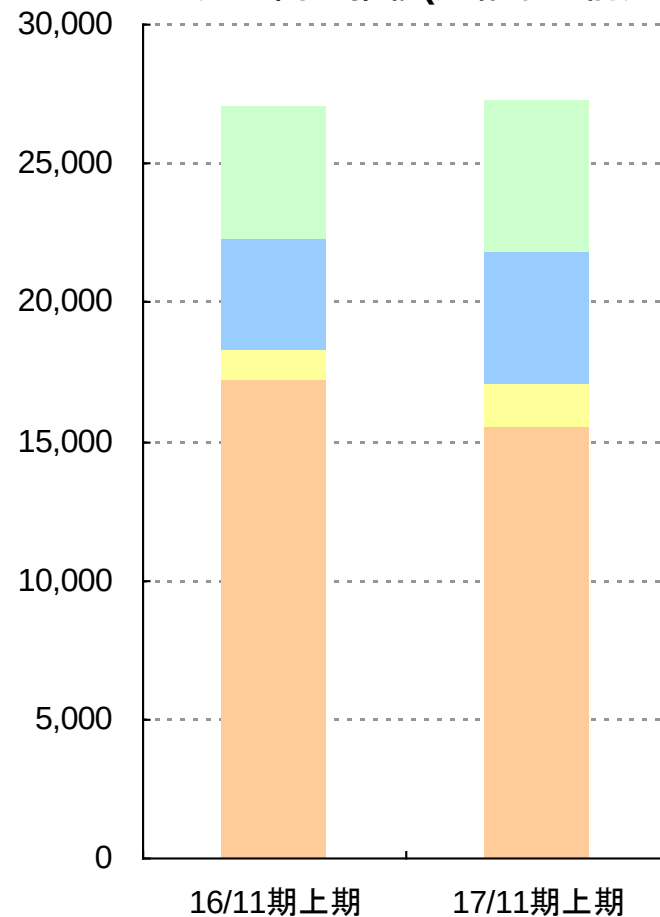
	売上高		営業利益		経常利益	
	16/11期	17/11期	16/11期	17/11期	16/11期	17/11期
	上期	上期	上期	上期	上期	上期
連 結	24,441	24,668	965	823	915	958
単 体	17,167	15,500	783	528	824	685
国内子会社	1,128	1,507	43	103	49	137
海外子会社	8,724	10,248	148	177	128	193
連結消去	▲ 2,578	▲ 2,587	▲ 9	13	▲ 87	▲ 57

売上高の前期対比

マルカキイ単体	国内子会社	米州子会社	アジア子会社
			

単位:百万円

売上高の推移(連結消去前)



産業機械部門



産業機械部門売上高推移

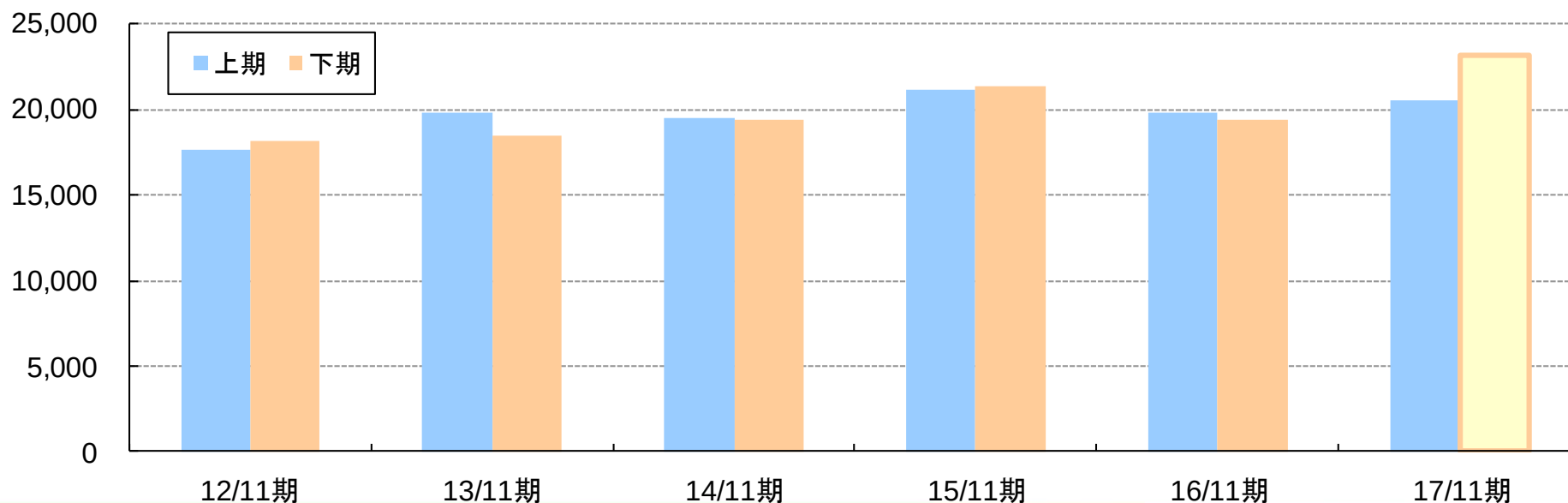
上期は国内向けが不調も、海外向けが増加

単位: 百万円

	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	前年同期比
上期	17,684	19,804	19,460	21,104	19,824	20,483	3.3
下期	18,157	18,428	19,384	21,379	19,378	23,102	19.2
合計	35,841	38,233	38,844	42,483	39,202	43,585	11.2

単位: 百万円

※17/11期下期・合計は計画数値



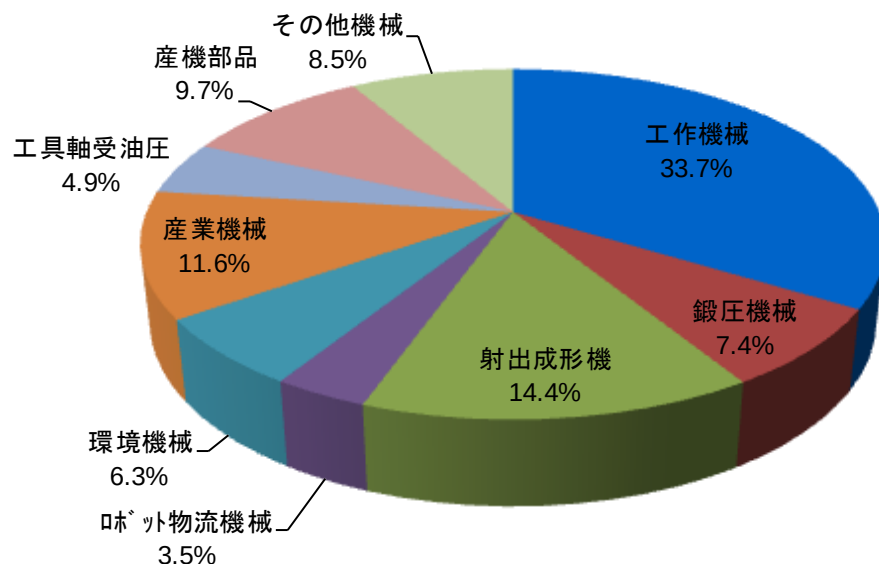
産業機械部門 — 商品別売上高

前上期大口案件があった産業機械が大幅減少も産機部品(マレーシア向け自動車部品)が大幅増

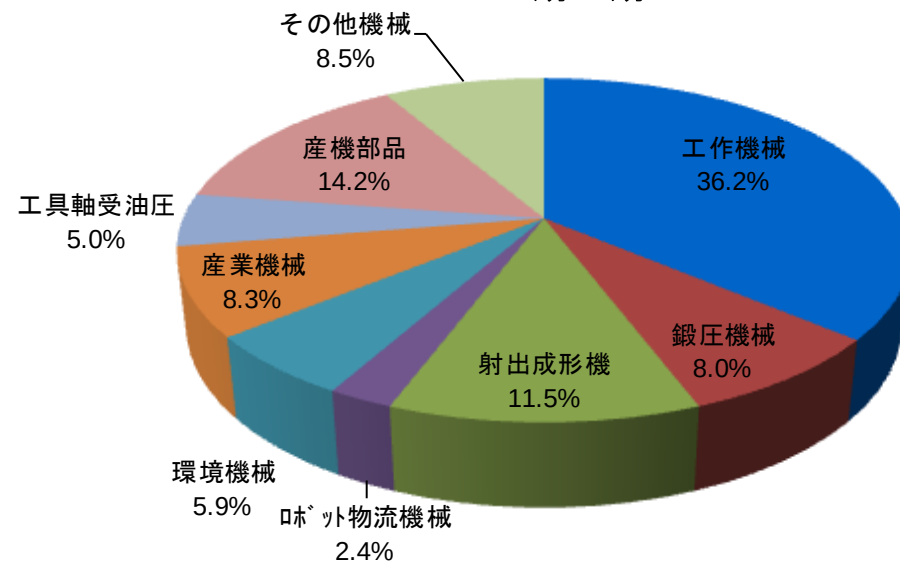
単位:百万円

	産業機械計									
		工作機械	鍛圧機械	射出成形機	ロボット 物流機械	環境機械	産業機械	工具軸受 油圧	産機部品	その他 機械
16/11期上期	19,824	6,685	1,465	2,850	692	1,253	2,306	974	1,917	1,678
17/11期上期	20,483	7,409	1,648	2,358	499	1,209	1,699	1,016	2,905	1,735
前年同期比(%)	3.3	10.8	12.5	▲ 17.3	▲ 27.8	▲ 3.5	▲ 26.3	4.4	51.5	3.4

16/11期上期



17/11期上期



※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 — 業界別売上高

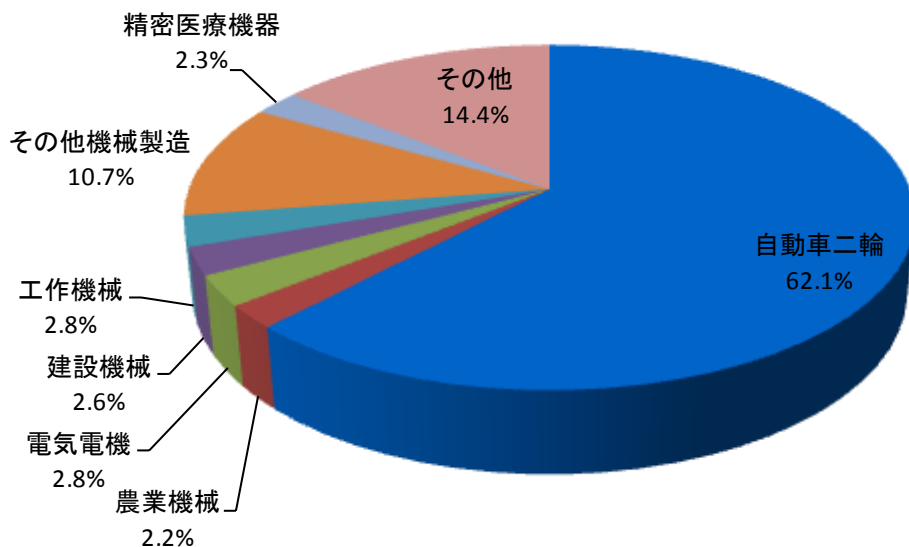


前上期大口案件の影響で建設機械業界向けが大幅に落ち込むも、主力の自動車業界向けが増加

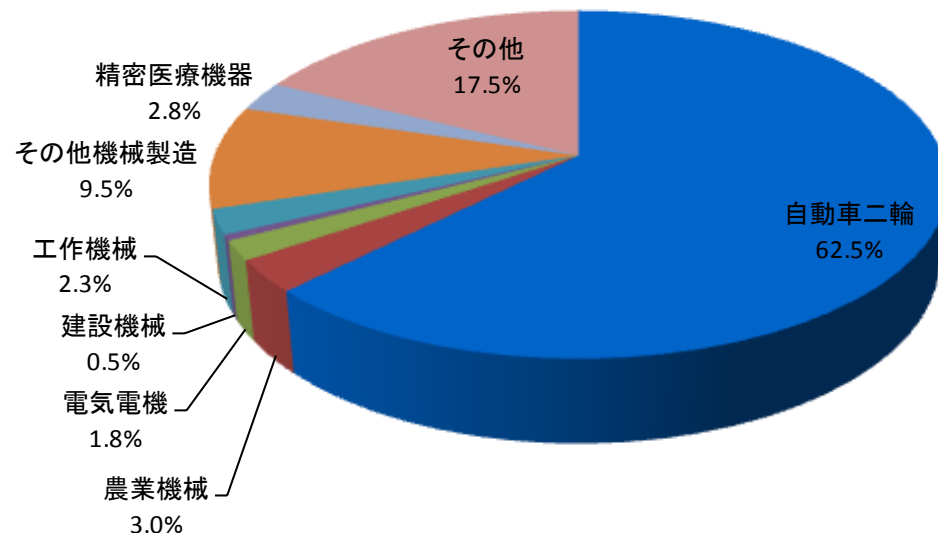
単位: 百万円

	産業機械計								
		自動車 二輪	農業機械	電気電機	建設機械	工作機械	その他 機械製造	精密医療 機器	その他
16/11期上期	19,824	12,306	433	563	516	562	2,128	464	2,848
17/11期上期	20,483	12,797	616	372	110	471	1,952	569	3,593
前年同期比(%)	3.3	4.0	42.1	▲ 33.9	▲ 78.7	▲ 16.2	▲ 8.3	22.5	26.2

16/11期上期



17/11期上期

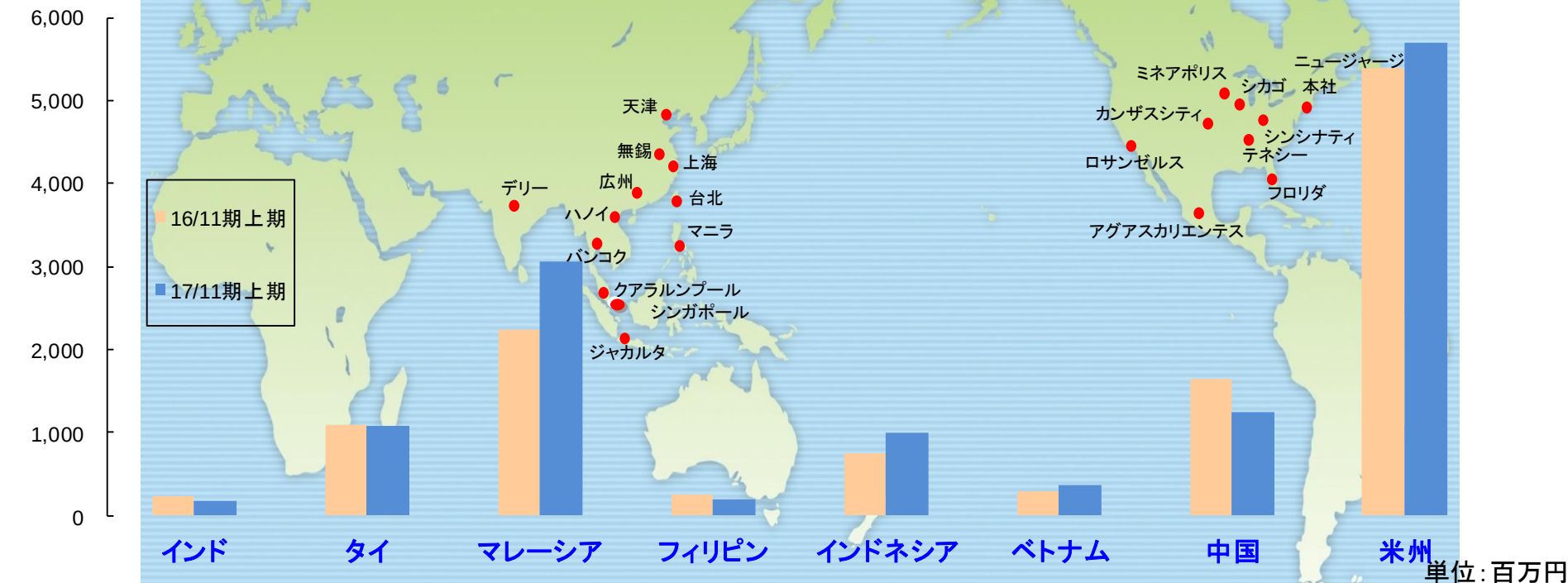


※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 ― 地域別海外売上高



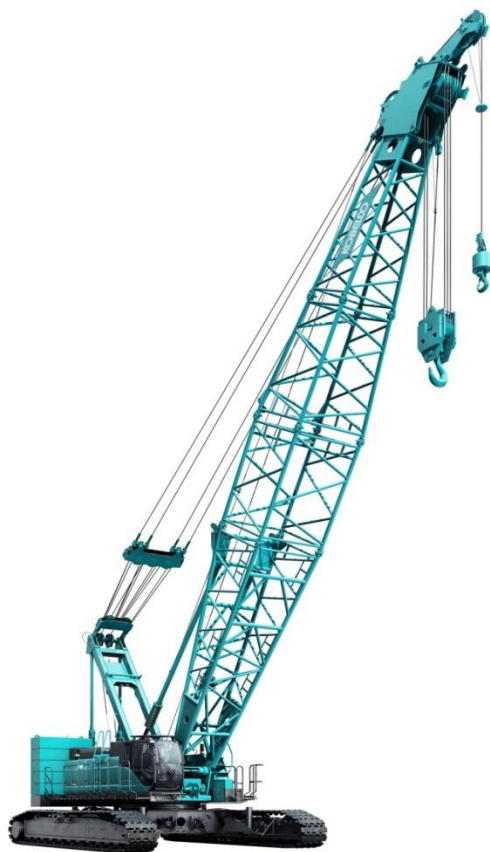
単位: 百万円



拠点	インド	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	中国	米州	その他	海外計
16/11期上期	226	1,088	2,238	255	747	299	1,641	5,399	3	11,901
17/11期上期	182	1,066	3,067	198	1,001	367	1,247	5,701	36	12,869
前年同期比(%)	▲ 19.3	▲ 2.0	37.0	▲ 22.1	33.9	22.6	▲ 24.0	5.6	993.5	8.1

※当社現地法人所在地のみ(国内販売海外仕向を含む)を表示 ※台湾向け売上高は、中国に含む

建設機械部門



建設機械部門売上高推移

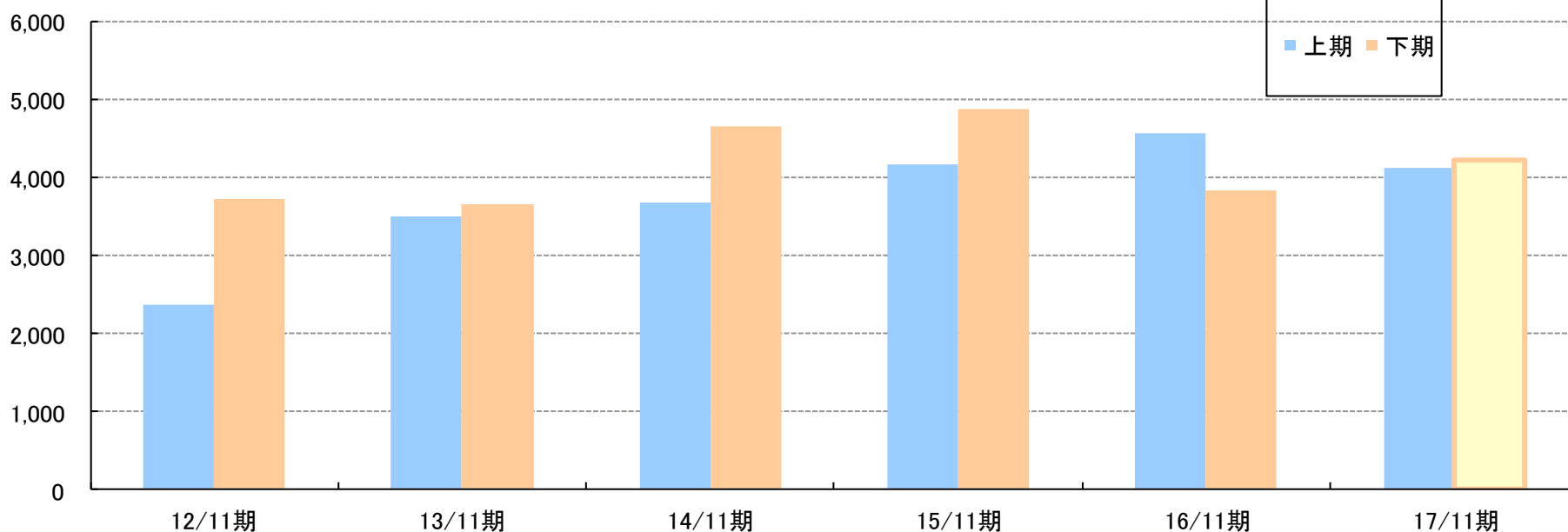
依然として厳しい状態が続くが、輸入機等の拡販で売上回復を図る

単位: 百万円

	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	前年同期比
上期	2,363	3,496	3,689	4,165	4,573	4,124	▲ 9.8
下期	3,715	3,650	4,666	4,878	3,829	4,226	10.4
合計	6,078	7,147	8,355	9,043	8,403	8,350	▲ 0.6

※17/11期下期・合計は計画数値

単位: 百万円



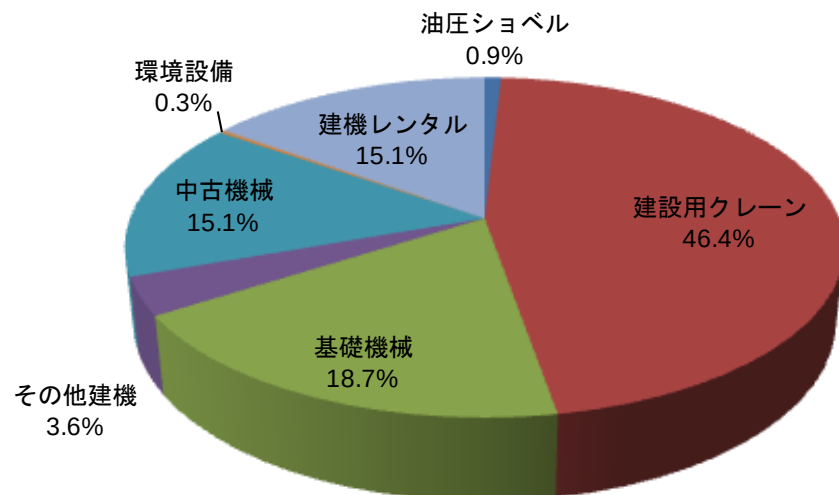
建設機械部門 — 商品別売上高

基礎機械が大幅増加も、主力商品である建設用クレーンが大幅減

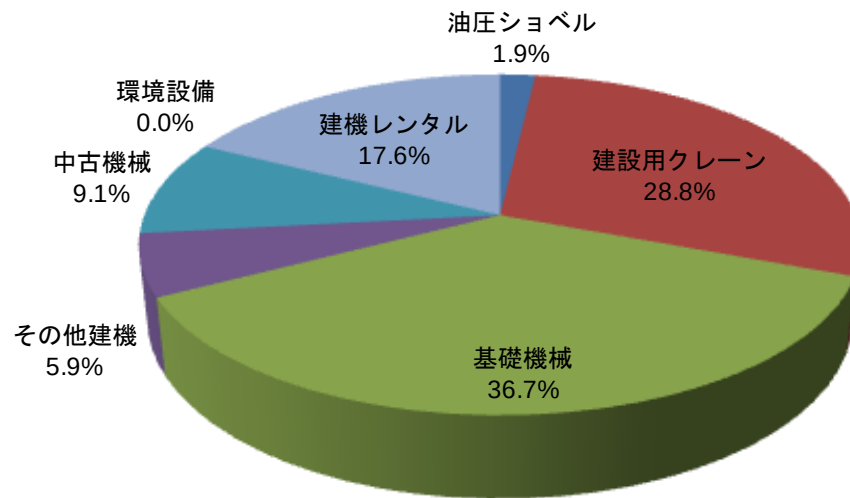
単位:百万円

	建設機械計	油圧ショベル	建設用クレーン	基礎機械	その他建機	中古機械	環境設備	建機レンタル
16/11期上期	4,573	40	2,119	855	165	690	12	688
17/11期上期	4,124	77	1,187	1,513	243	375	0	726
前年同期比(%)	▲ 9.8	94.0	▲ 44.0	76.9	46.8	▲ 45.7	▲ 99.1	5.5

16/11期上期



17/11期上期



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

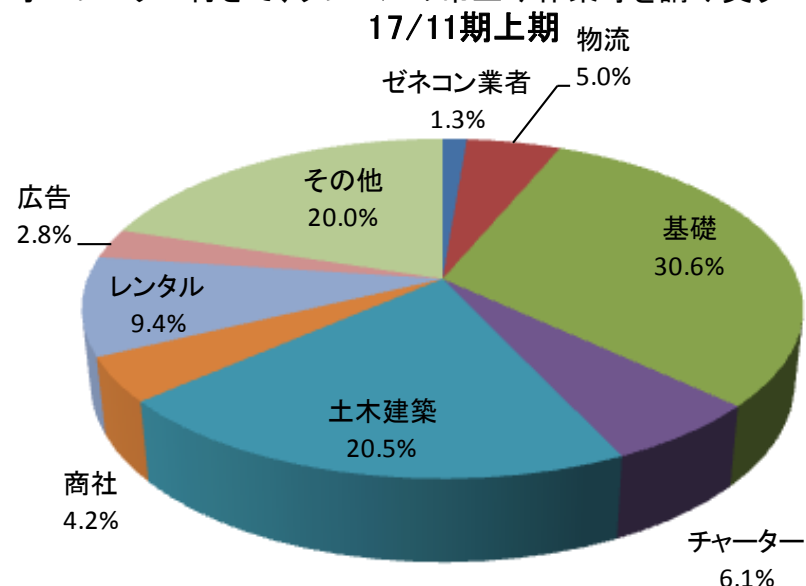
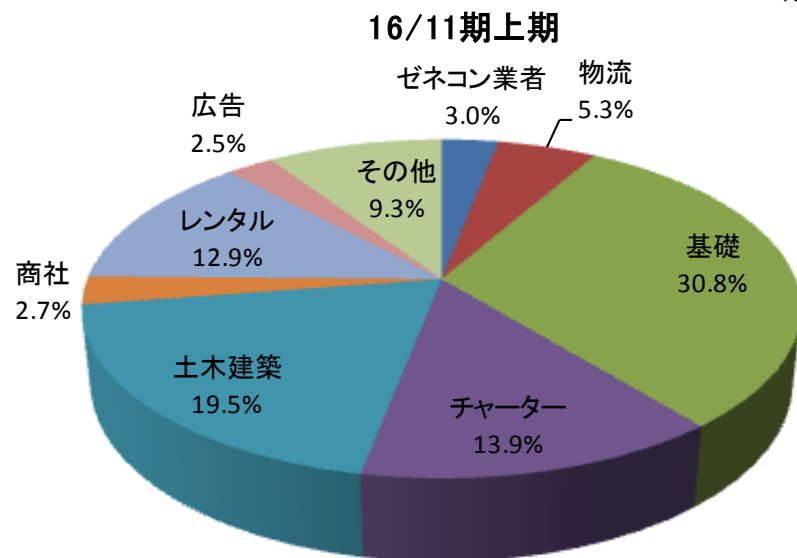
建設機械部門 — 業界別売上高

チャーター、レンタル業界向けが大幅減少

単位: 百万円

	建設機械計									
		ゼネコン 業者	物流	基礎	チャーター ※	土木 建築	商社 (輸出)	レンタル	広告	その他
16/11期上期	4,573	138	241	1,407	637	893	123	590	114	426
17/11期上期	4,124	53	206	1,262	251	845	174	387	117	824
前年同期比(%)	▲ 9.8	▲ 61.2	▲ 14.6	▲ 10.3	▲ 60.6	▲ 5.3	41.3	▲ 34.4	2.9	93.3

※チャーター＝オペレーター付きで、クレーンの吊上げ作業等を請け負う工事業者



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

2017年11月期 営業戦略の進捗及び業績予想

長期ビジョン

創立70周年を迎え、100年企業に向かって
新生マルカを目指す

目指す企業像

日米中亜 結集 1000億円企業へ

新商品・新分野・新市場
新規ビジネス創出 脱機械専門商社

個性的な企業体創造
顧客満足度No.1企業

強固な
安定
収益基盤

中期経営計画(2017/11期～2020/11期)の概要

日米中亜4極体制
マルカグローバルイノベーション
新たな創造 更なる飛躍

重点戦略



中期経営計画の数値目標

グローバル機材の大幅拡大
東南アジアを中心に海外売上高比率60%へ

単位：億円

	16/11期			20/11期目標		増減(対16/11期)	
	金額	構成比		金額	構成比	金額	率
売上高	477	100%		650	100%	172	36%
産業機械	321	67%		420	65%	98	31%
グローバル機材	70	15%		130	20%	59	84%
建設機械	84	18%		100	15%	15	19%
海外売上高比率	49%			60%		+11pt	
営業利益	16	—		30	—	13	81%
営業利益率	3.5%	—		4.6%	—	—	+1.2pt

17/11期業績予想

産業機械の海外販売強化による収益の回復を狙う

単位:百万円

	16/11期	17/11期予想			前期比 (%)
		上期	下期	通期	
売上高	47,708	24,668	27,332	52,000	9.0
産業機械	39,202	20,483	23,102	43,585	11.2
建設機械	8,403	4,124	4,226	8,350	△ 0.6
その他	102	61	4	65	△ 36.4
売上総利益	6,913	3,606	3,844	7,450	7.8
販売管理費	5,260	2,783	2,867	5,650	7.4
営業利益	1,657	823	977	1,800	8.6
経常利益	1,709	958	1,012	1,970	15.2
親会社に帰属する当期純利益	929	613	637	1,250	24.3
1株当たり当期純利益	105.96円	71.43円	73.23円	144.66円	—

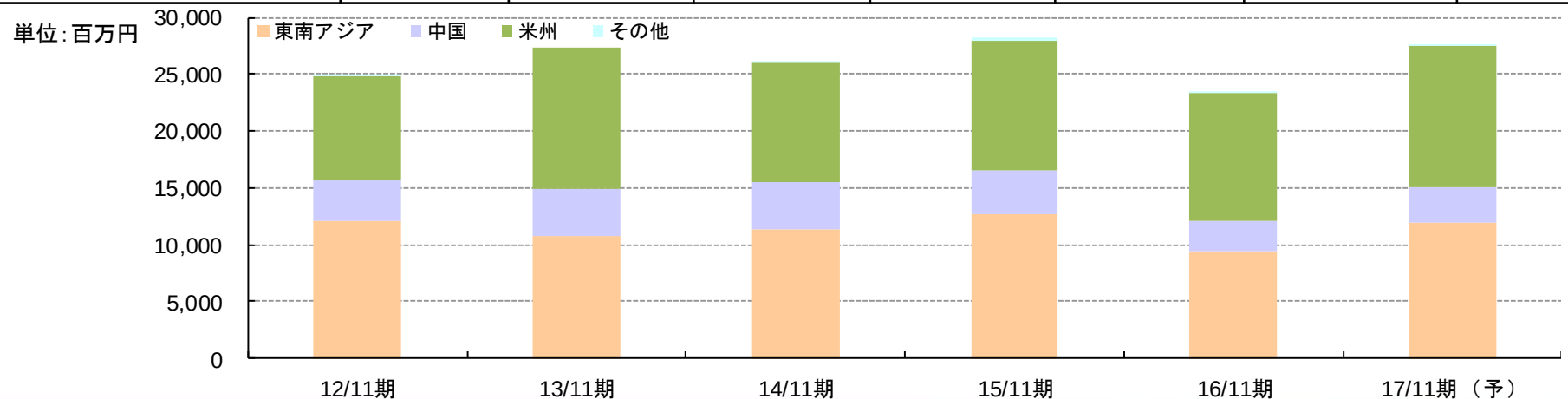
注)グローバル機材は産業機械に含めて表示

期末(想定)為替レート米ドル/円	112円42銭	—	—	110円00銭	—
1株当たり配当金	37円	17円	22円	39円	—

海外売上高の推移

単位: 百万円

	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期 (予想)	構成比
海外売上高	24,677	27,396	26,167	28,292	23,357	27,500	—
米州	9,056	12,548	10,612	11,528	11,279	12,500	24.0%
中国	3,465	4,023	4,191	3,806	2,680	3,000	6.0%
東南アジア(含むインド)	12,122	10,823	11,293	12,680	9,393	12,000	23.0%
その他	63	—	70	276	4	—	—
海外売上高比率(%)	58.8	60.3	55.4	54.8	49.0	53.0	—
期末為替レート	82円10銭	102円42銭	118円23銭	122円82銭	112円42銭	(110円00銭)	←想定レート



17/11期の営業戦略と進捗（産業機械部門①）

～米 州～

【事業環境】

北米市場では自動車、航空機向け関連の需要は堅調に推移

▽北米における工作機械販売テリトリーの拡大

- ・今上期の北米における工作機械の売上高は、自動車業界を中心に24億円（前年同期比66%増）

▽エンジニアリング機能を発揮。ITI社、管製作所製品の積極投入

- ・ITI社は治具等の受注が好調に推移し、今上期の売上高は4億円（前年同期比42%増）
- ・管製作所製品については、販売促進施策中であり下期以降に受注見込み

▽北米市場における東洋機械金属製電動射出成形機の需要増への対応

- ・北米電動機 2017年～4月までシェア10.8%へ回復
- 今上期販売台数は77台の実績

▽Fu-Chun-Shin製（台湾射出成形機メーカー）製油圧式プラスチック成形機のシェアアップ

- ・今上期販売台数は6台の実績

▽メキシコ（アグアスカリエンテス）向け輸出増加

- ・今上期売上高7億円の実績

17/11期の営業戦略と進捗（産業機械部門②）

～東南アジア～

【事業環境】

タイ、インドネシア市場を中心に、自動車業界の需要は底堅く推移すると予想

▽日系自動車向け設備、部品消耗品などの現地調達の推進を図る

タイ・マレーシア = 自動車向けの販売は落ち込むも、マルカ・エクスポート・タイにおいて新車種生産開始に伴う自動車部品売上が堅調に推移

インドネシア = 今上期の自動車二輪業界向け売上高は約10億円で、前年同期比55%増

ベトナム = プレス修理等によりサービス売上が順調に拡大

フィリピン = 主力ユーザーのプレス・自動車関連企業の設備投資意欲が回復せず低迷。

インド = 主力ユーザーである自動車Tire1向けの部品売上が大幅減少

～中国～

【事業環境】

景気の持ち直しの動きは見られるものの、持続性は乏しいと予想

- ・大手自動車関連企業の設備投資一服感により大口受注が減少
- ・部品・サービス売上は前年同期比10%増加
- ・中国製機械は増加

売上高	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期2Q	17/11期予想
中国製機械	13.0億円	18.0億円	16.0億円	13.3億円	10.4億円	4.7億円	10.0億円
台湾製機械	6.8億円	8.3億円	8.0億円	4.4億円	2.1億円	2.7億円	4.0億円

17/11期の営業戦略と進捗（産業機械部門③）

～日 本～

【事業環境】

国内産業機械の動向は緩やかに回復の見込み

▽さらなる海外売上高の増加を目指した大手製造会社向け海外進出のバックアップ

・今上期海外売上高比率は53%に上昇

▽部品・消耗品・サービス売上のさらなる拡大

売上高	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期2Q	17/11期予想
部品・修理・消耗品	85億円	93億円	100億円	146億円	131億円	76億円	140億円

▽重点商品の射出成形機（東洋機械金属）、鍛圧板金機械（コマツ産機）の市場拡大

・今上期販売台数は、射出成形機（東洋機械金属）が21台、鍛圧板金機械（コマツ産機）は44台の実績

▽ロボットの更なる販売強化

・今上期のロボットシステムの売上高は2.6億円/29台（年間目標：10億円/150台）

▽MM会商品の取扱いをさらに拡大（新たにシステムインディグレータ 3社が加入）

取扱高	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期2Q	17/11期予想
MM会商品	33億円	36億円	43億円	39億円	35億円	15億円	40億円

17/11期の営業戦略と進捗（建設機械部門）

～日 本～

【事業環境】

建設業界の需要は中期的には拡大見通し

▽クレーン新車販売下期増加計画

▽2020年へ向けての国内需要へ対応

コンクリートポンプ車の全国的販売展開

・今上期販売実績は、関西、関東、九州で計14台・3億円の売上高

▽輸入建設機械商品群の取扱い拡充

・Magni社（イタリア）と販売代理店契約締結、テレハンドラー（荷役車両）の販売へ

・現代製ホイールショベルの販売実績は2台

・ドイツ製岩石掘削機アタッチメント（Erkat社）の取扱い高 0.3億円

▽港湾荷役業界に注力

・港湾事業者向けにリーチスタッカー（特殊荷役車両）を納入

～東南アジア～

【事業環境】

為替環境の落ち着きにより、輸出拡大を期待

▽シンガポール向け他、当上期の海外売上高は約1億円の実績

トピックス① マルカキカイ本社移転

～平成29年8月 新本社に移転予定～

1. 移転先

大阪市中央区南新町2丁目2番5号

2. 移転予定日

平成29年8月中旬

3. 移転の目的

- ・営業の効率化
- ・入居ビルの耐震性を強化し企業の継続性を確保
- ・新規学卒者採用環境変化への対応

《建物外観》



トピックス② (株)管製作所 新社屋及び新工場が竣工

～平成29年4月 新社屋及び工場の建設が完了～

1. 新住所

山形県天童市荒谷堂ノ前1000番28

2. 竣工日

平成29年4月28日

《建物外観》



《組立棟/加工棟》

従来の2倍のスペースを確保し、大きなライン物や大型洗浄機にも対応可能



《洗浄機ショールーム》

専用のショールームを設け、低圧から高圧まで幅広くテスト洗浄が可能



株主還元

配当方針及び配当金の推移

■ 配当につきましては、安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら、利益に見合った配当を行っていく予定です。総還元性向は40%を目指します

1株当たり配当金及び配当性向の推移

	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期 (期初予想)	17/11期 (修正予想)
中間配当	9円	10円	12円	15円	15円	15円	17円
期末配当	11円	(※1) 13円 (記念2円)	14円	20円	(※2) 22円 (記念2円)	22円	22円
年間配当	20円	23円	26円	35円	37円	37円	39円
配当性向	13.3%	14.3%	14.6%	17.9%	34.9%	25.6%	27.0%

(※1) 上場15周年記念配当2円を含む (※2) 創立70周年記念配当2円を含む

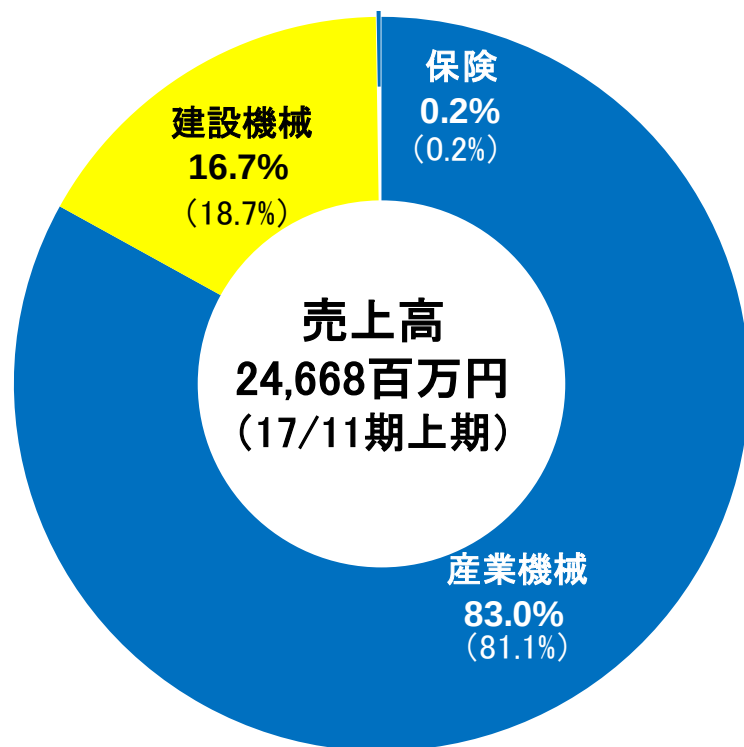
***2015年11月期は約4.5億円、2016年11月期は約1.8億円、2017年2月に1.9億円の自社株を取得**

補足資料

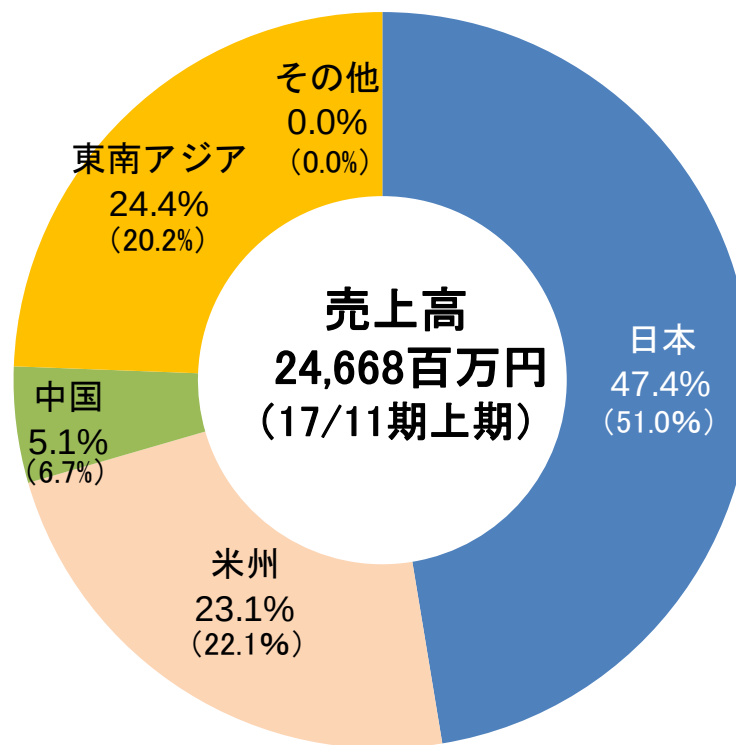
事業内容

日本・米国・中国・東南アジアで産業機械と建設機械の販売を行い、海外に進出する日系企業や現地企業との取引を拡大

部門別売上高構成



地域別売上高構成



※括弧内は16/11期上期売上高24,441百万円の構成比

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

産業機械部門 — 主な取扱い製品

生産工場の中で働く、物づくりに欠かすことのできない機械を販売

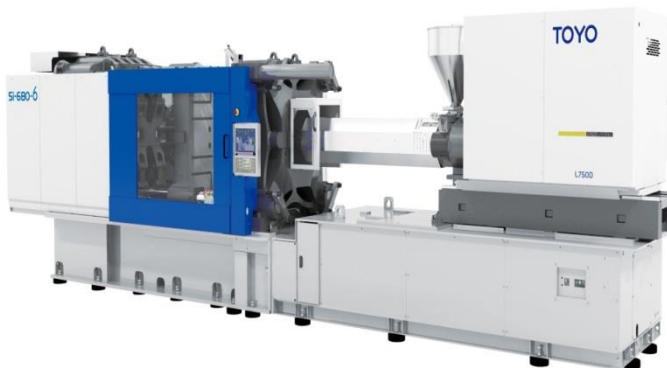
取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ 工作機械（東洋精機工業、村田機械、ジェイテクト、ツガミ、DMG森精機、OKK
ヤマザキマザック、牧野フライス、ファナック、中村留精密工業、高松機械製作所 等
- ✓ 鍛圧機械（コマツ産機・ソノルカエンジニアリング）
- ✓ 射出成形機（東洋機械金属）



例①工作機械（マシニングセンタ）

金属を精密加工する機械です。自動車のエンジンや様々な部品を加工します。



例②プラスチック射出成形機

プラスチックの原料を溶かし、型に流し込み、圧力をかけて製品を作ります。
CDや携帯電話等、プラスチック製品が作られます。



例③産業用多関節ロボット

ハンドリングロボットです。人間に代わり、製品の搬送溶接等を行います。

建設機械部門 — 主な取扱い製品

都市のインフラ整備に欠かすことのできない機械を販売・レンタル

取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ クレーン、ショベル(コベルコクレーン)
- ✓ 杭打機・圧入機(技研製作所)
- ✓ アースオーガー(三和機工)
- ✓ 発電機(デンヨー)
- ✓ 地盤改良機(ワイビーエム)



例①クローラクレーン

重量物の吊上や運搬を行います。



例②地盤改良機

住宅などの建築前に、地盤の改良を行います。



例③高所作業車

看板やディスプレイの取り付けの際に活躍します。

当社の強み① グローバルネットワーク-1



国内に12か所、米州に12か所、中国に4か所、東南アジア・インドに8か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備

米 州



中国・東南アジア・インド

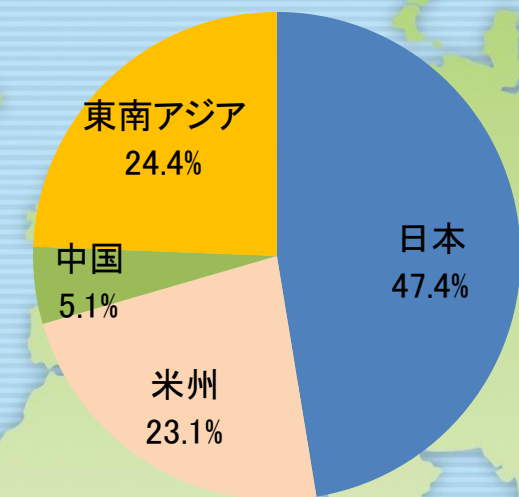


※ 2017年5月31日時点

当社の強み① グローバルネットワーク-2

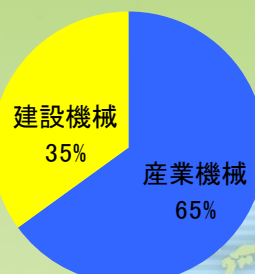
日本・中国・東南アジアでは日系企業、北米では米系企業を主な販売先とし、世界4極で特徴のあるビジネススタイルを確立

2017年11月期上期 地域別売上高構成比



日本国内向け売上高

取扱製品構成比



販売先企業:
主に日系企業

主な需要業界

(産業機械)
自動車 40%
農業機械 5%
(建設機械)
基礎 11%

米州向け売上高

販売先企業:
主に米系企業

主な需要業界(産業機械)

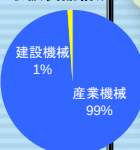
自動車 41% 部品加工 16%
精密機械 7%
合成樹脂 21%

取扱製品構成比

産業機械
100%

東南アジア向け売上高

取扱製品構成比



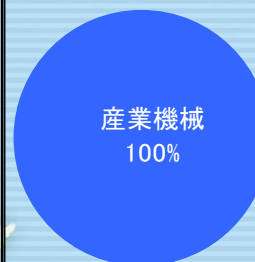
販売先企業:
主に日系企業

主な需要業界

(産業機械)
自動車 82%
電気・電機 2% IT関連 3%

中国向け売上高

取扱製品構成比



販売先企業:
主に日系企業

主な需要業界(産業機械)

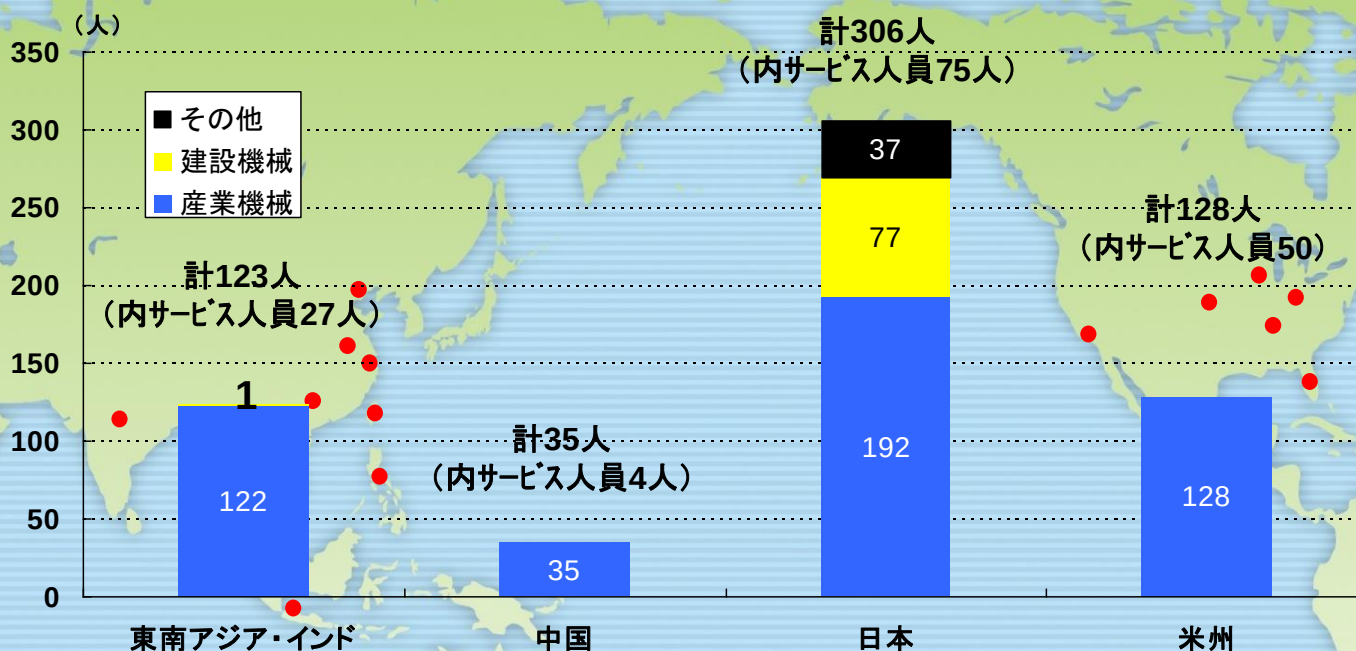
自動車 71%

当社の強み① グローバルネットワーク-3

世界4極に592人を配置し、機械の販売及び部品・消耗品・サービスの取扱いを拡大

サービス人員の育成に注力し、全体の約1/4強となる156人体制を構築

地域別の従業員数



全地域 合計	合計 (その他含む)		内 サービス人員
	産業機械	建設機械	
	477人	78人	156人

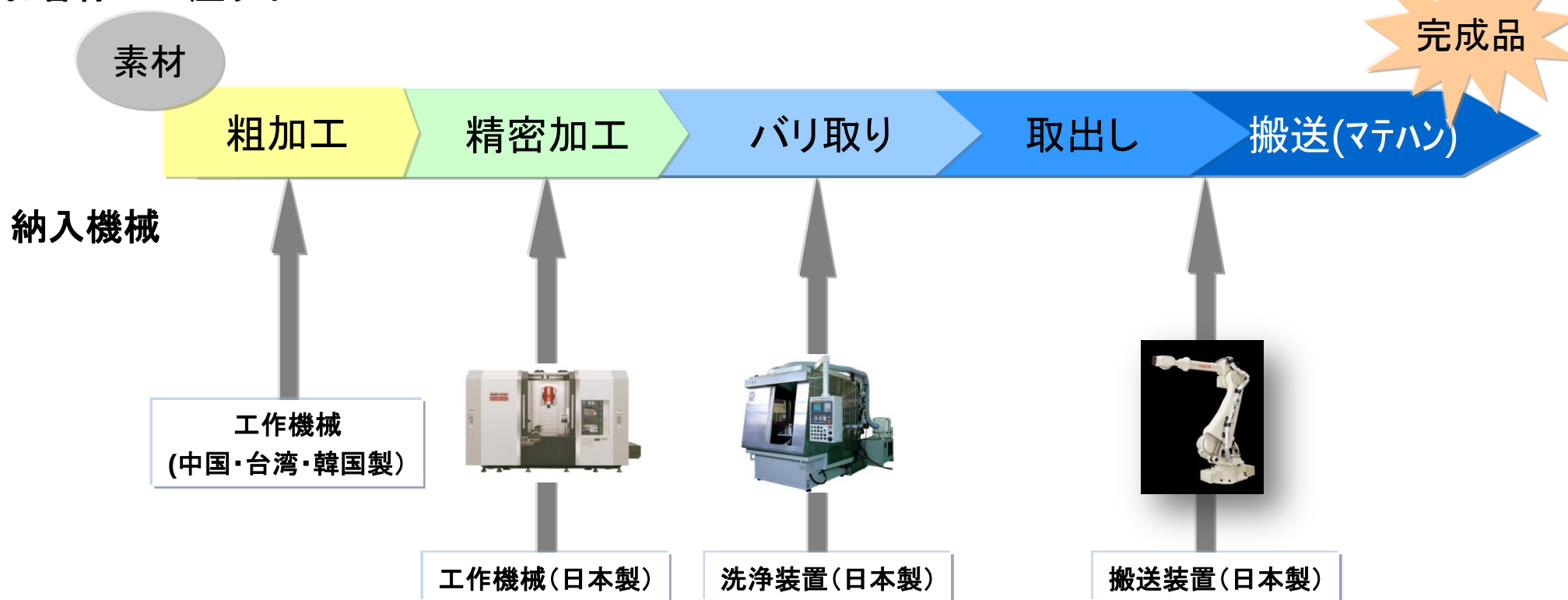
※ 2017年5月31日時点

当社の強み② 提案型システム営業

お客様のニーズに合った、省力化省人化の工場システムを提案
ライン一括受注を目指し、付加価値の高いシステムを構築

《提案イメージ》

お客様の生産ライン



当社の強み② 提案型システム営業-MM会

MM(マルカ・メーカー)会

機械専門商社であるマルカキカイと専門分野で優秀な技術を有するメーカーが協力し、販売ならびに新商品の共同開発を目的として発足。「お客様のニーズ」と「メーカーの技術」それに「マルカの持つ情報・知識」この3者の密接な連携によるシステムの構築が、当社の提案型営業を支える柱の一つとなっています。

2017年5月末日現在の会員メーカー数は、22社となっています。

(株) 大 鋳	ショットブラストマシン、各種研掃材	大阪府高槻市
大 峰 工 業 (株)	チップコンベア、ノンタッチシステム	大阪市北区
(株) 光 栄 製 作 所	油圧プレス、誘導加熱システム	兵庫県宝塚市
先 生 精 機 (株)	プログラムレス自動面取機、3Dインラインチェッカー	静岡県清水市
(株) コ ス モ テ ッ ク	プレス修理	名古屋市緑区
千 代 田 工 業 (株)	パイプベンダー、パイプ自動加工機	大阪市淀川区
(株) ユ ー テ ッ ク	各種生産システムの設計製造、各種検査機の設計製造	大分県臼杵市
三 愛 エ コ シ ス テ ム	産業廃棄物適正処理システム・機器の設計製造販売	神奈川県厚木市
(株) 紀 和 マ シ ナ リ ー	工作機械の製造販売	三重県名張市
高 橋 金 属 (株)	各種非標準洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市
(株) 富 士 精 機 販 売	油圧単能盤・NC旋盤・単能盤NC旋盤をベースにした専用機・穴明専用機の設計製作、自社設備用の自動化、搬送装置検査装置等の販売	愛知県小牧市
(株) 大 進 工 業 研 究 所	自動ろう付機・ろう付補助材料の製造販売、耐蝕耐熱耐摩耗金属による盛金精密鑄造品加工	大阪市大正区

(次頁に続く)

ターケット・エンジニアリング(株)	各種自動化設備の設計製造	京都市伏見区
ナストーア溶接テクノロジー(株)	各種抵抗溶接機・特殊専用機・治具・省力化機器の製造販売	東京都中央区
(株)ワイエムジー	NC旋盤・マシニングセンター多数台連結ライン	愛知県豊橋市
(株)松井製作所	プラスチック成形用合理化機器システムの製造販売	東京都品川区
丸昭機械(株)	各種線材加工用機械・各種工作機械 専用治工具・省力自動機械・各種試験機・設計製作	大阪市平野区
(株)ニチゾウテック九州事業部	エンジニアリング、技術コンサルティング、メンテナンスの3つの事業領域を連携させた総合技術サービス	熊本県玉名郡
(株)テクノス	自動化システムの製作	群馬県伊勢崎市
(株)ユニ技研	部品供給装置、搬送装置、検査装置、計測装置など各種機械設計、製作	愛知県豊橋市
ソノルカエンジニアリング(株)	コイルラインシステム、シャーライン、NCトランスファー設計製造販売	大阪府摂津市
(株)管製作所	CNC高圧洗浄機、専用工作機械	山形県天童市

タイMM会 11社

CHIYODA KOGYO	Tube Pipe Bender
COSMO	Repair for Press Machines
DENYO ASIA	Welding Cables Welders Servo Guns
EUREKA DESIGN	Washing Machine Leak Test Mechine
KANTO ENGINEERING	Maintenance for Idustry Machines

NISSEN KOHKI	Washing Machine
ROBOT SYSTEM	Palletizing Robot Welding Robot
SORIME	Design and Manufacture of Machine
TAKAHASHI METAL INDUSTRIES	Washing Machine Ionized Water Sysytem
THAI TAKIGAMI	Design Electric FA Sysytem
TOCHU	Shot Blasting Machines Horizontal Conveyor

海外売上高・商品別売上高(連結)

海外売上高(国内売り・海外仕向含む)

(単位:百万円)		16/11期 上期	17/11期 上期	前期比%
米	州	5,399	5,701	5.6
中	国	1,642	1,251	▲ 23.8
ア ジ ア	タ イ	1,088	1,066	▲ 2.1
	インドネシア	806	1,014	25.7
	マレーシア	2,238	3,067	37.0
	フィリピン	256	198	▲ 22.4
	インド	226	182	▲ 19.3
	ベトナム	302	367	21.4
	シンガポール	0	31	---
	韓国	0	54	---
	その他アジア	18	31	67.1
	アジア計	4,938	6,014	21.8
その他		3	0	▲ 78.4
合計		11,982	12,967	8.2

商品別売上高

(単位:百万円)		16/11期上期		17/11期上期		前期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
産 業 機 械	工 作 機 械	6,685	27.4	7,409	30.0	10.8
	鍛 圧 機 械	1,465	6.0	1,646	6.7	12.5
	射 出 成 形 機	2,850	11.7	2,358	9.6	▲ 17.3
	ロボット物流機械	692	2.8	499	2.0	▲ 27.8
	環 境 設 備	1,253	5.1	1,209	4.9	▲ 3.5
	産 業 機 械	2,306	9.4	1,699	6.9	▲ 26.3
	工 具 軸 受 油 圧	974	4.0	1,016	4.1	4.4
	産 機 部 品	1,917	7.8	2,905	11.8	51.5
	産 機 そ の 他	1,678	6.9	1,735	7.0	3.4
	産業機械計	19,824	81.1	20,483	83.0	3.3
建 設 機 械	油 圧 シ ョ ベ ル	40	0.2	77	0.3	94.0
	建設用クレーン	2,119	8.7	1,187	4.8	▲ 44.0
	基 礎 機 械	855	3.5	1,513	6.1	76.9
	そ の 他 建 機	165	0.7	243	1.0	46.8
	中 古 機 械	690	2.8	375	1.5	▲ 45.7
	建 機 レ ン タ ル	688	2.8	726	2.9	5.5
	環 境 設 備	12	0.1	0	0.0	▲ 99.1
	油 圧 ブ レ ー カ	0	-	-	-	---
	建設機械計	4,573	18.7	4,124	16.7	▲ 9.8
	保険・その他	44	0.2	61	0.3	38.9
合計		24,441	100.0	24,668	100.0	0.9

業界別売上高(連結)

(単位:百万円)		16/11期上期		17/11期上期		前期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
業 機	自動車二輪	12,306	50.3	12,797	51.9	4.0
	農業機械	433	1.8	616	2.5	42.1
	電気電機	563	2.3	372	1.5	▲ 33.9
	建設機械	516	2.1	110	0.4	▲ 78.7
	工作機械	562	2.3	471	1.9	▲ 16.2
	その他機械製造	2,128	8.7	1,952	7.9	▲ 8.3
	精密医療機器	464	1.9	569	2.3	22.5
	IT関連	156	0.6	232	0.9	48.3
	食料品	42	0.2	72	0.3	70.6
	鋼製家具	43	0.2	189	0.8	334.1
	合成樹脂	715	2.9	1,305	5.3	82.4
	プラント加工機	10	0.0	-	0.0	---
	繊維機械	4	0.0	7	0.0	61.0
	防衛	231	0.9	-	0.0	---
	エネルギー・化学	92	0.4	28	0.1	▲ 69.1
	住宅建材	0	-	21	0.1	---
	リース	35	0.1	7	0.0	▲ 78.6
	商社	64	0.3	161	0.7	150.5
	造船	0	0.0	2	0.0	458.7
	鉄道運輸	81	0.3	66	0.3	▲ 17.6
機	航空機	248	1.0	171	0.7	▲ 31.2
	その他	1,131	4.8	1,323	5.4	17.3
計		19,824	81.1	20,483	83.0	3.3

(単位:百万円)		16/11期上期		17/11期上期		前期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
建 設 機 械	ゼネコン業者	138	0.6	53	0.2	▲ 61.2
	物流	241	1.0	206	0.8	▲ 14.6
	基礎	1,407	5.8	1,262	5.1	▲ 10.3
	チャーター	637	2.6	251	1.0	▲ 60.6
	土木・建築	893	3.7	845	3.4	▲ 5.3
	商社	123	0.5	174	0.7	41.3
	レンタル	590	2.4	387	1.6	▲ 34.4
	広告	114	0.5	117	0.5	2.9
	その他	426	1.7	824	3.3	93.3
	建設機械計	4,573	18.7	4,124	16.8	▲ 9.8
	保険・その他	44	0.2	61	0.2	38.9
	合計	24,441	100.0	24,668	100.0	0.9

注意事項

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。